

# 遺伝子発現バンク(GEO)目次

(<http://lifesciencedb.jp/geo>)



## ○ 遺伝子発現バンク(GEO)目次とは

NCBI（米国立生物工学情報センター）が維持管理している GEO データ（Gene Expression Omnibus：学術雑誌の投稿と連動したマイクロアレイやタイリングアレイのデータの最大のレポジトリ）を高速に検索し生物種や実験手法に分類して表示します。（更新頻度：週1回）

## ○ 遺伝子発現バンク(GEO)目次の機能

- ・「検索以外の方法」でデータに到達して、登録データの全貌をつかむ  
GEO 内のデータ分類（データセット、サンプル[測定に附された生体試料]、プラットフォーム[測定プロトコル]）を、生物種と実験手法の2つの観点から分類したインターフェイスで閲覧できます。GEO に登録されている情報を探すことを、書籍を読む動作にたとえると、一般的な全文検索は書籍末尾の索引からたどる方法であるのに対して、このインターフェイスで閲覧することは書籍先頭の目次からたどる方法に似ています。
- ・データを登録している国別の「国別登録データ分布」や、登録されているデータ量の継続的な変化が閲覧できます。
- ・英語でも提供しています。

## ○ 利用例

- ・ 無脊椎動物の生殖細胞の遺伝子発現解析データの有無を確認してデータを取得する。
- ・ 遺伝子発現データの存在するヒト内分泌器官のリストを取得する。
- ・ キーワード検索にマッチするデータセット、サンプル、プラットフォームを閲覧する。
- ・ 登録国別のデータ分布の閲覧、あるいは、絞り込みを行う。
- ・ 登録データの推移や全容を閲覧する。

## ○ 今後の開発予定

- ・ 動物解剖分類の高精度化と植物解剖分類への対応を進めます。

## ○ ご質問やご意見はこちらまで [info@dbcls.rois.ac.jp](mailto:info@dbcls.rois.ac.jp)

(2010年2月現在 ver.2)